



令和4年度決算を 議会が厳しく チェック!!

令和5年決算特別委員会は、9月13日に議長及び議会選出監査委員を除く16人で設置され、委員長に深澤輝彦委員、副委員長に塩野央弥委員を選出し、審査を行いました。

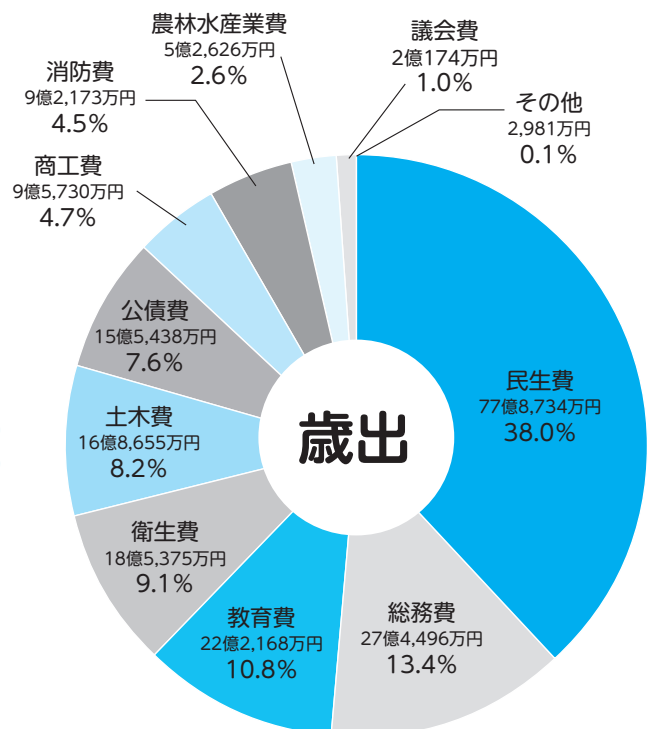
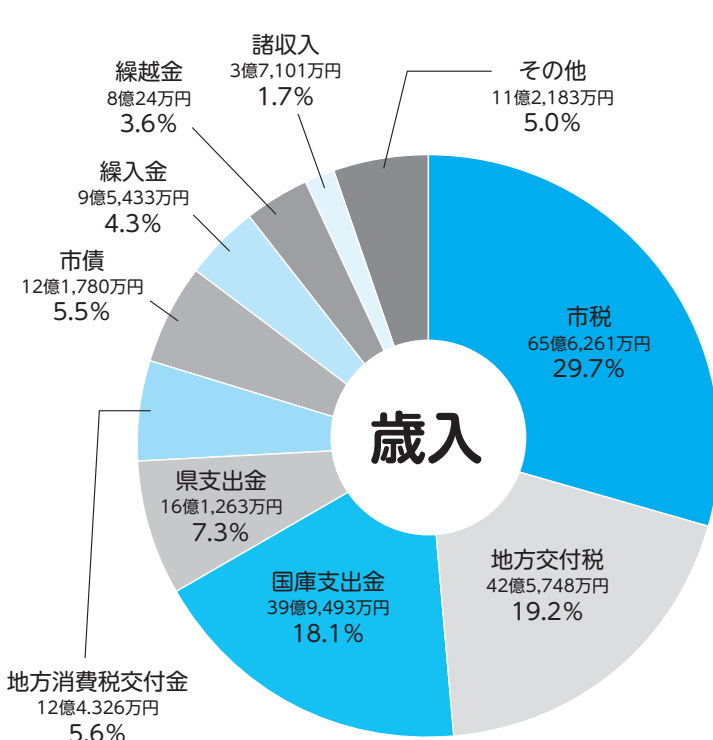
決算審査は、前年度の予算が目的に沿って適切に使われているかどうかを審査し、改善や要望を市に伝え、今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論が交わされました。



深澤 輝彦 決算特別委員長

令和4年度 決算概要

令和4年度一般会計決算	入ってきたお金	使ったお金
合計（内訳は下のグラフの通り）	221 億 3,612 万円	204 億 8,550 万円



令和4年度の決算状況は？

Pick up

みどモス運用事業【地域創生課】

問 令和4年度のみどモス出動回数は。

答 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり14回にとどまったが、令和4年度はみどり市内でのイベントへの出動が70回、群馬県内が7回、県外が4回の81回と増加した。学校行事でみどモスが登場すると歓声が上がリ、認知度も高まってきており、市外への宣伝をできるような体制を取っていききたい。



みどモス

学校給食費管理事業【学校教育課】

問 学校給食費補助金の食物アレルギー対応食対象者の内訳と、年度による人数の増減は。

答 補助金交付対象者の内訳は、令和4年度は小学生5名と中学生2名。また、年度による人数の増減については、令和元年度から毎年7名から8名で推移しており、令和5年度については、5名が交付対象となっている。



諸証明コンビニ交付事業【市民課】

問 利便性を上げるためにコンビニ交付事業が導入されたが、窓口負担はどのくらい軽減されたか。

答 令和4年度のコンビニ発行通数は5,676通であった。窓口に来た場合の窓口対応時間を約5分と換算すると、473時間程度削減ができたことになるため、その分他の市民対応に充てることができたと考えている。



大間々保健センター維持管理事業【健康管理課】

問 大間々保健センターに専門スタッフを集約させ、育児相談などの窓口を一元化して多様なニーズに対応していくとしていたが、その効果は。

答 笠懸、大間々、東の保健センター職員を集約したことで情報共有、事務効率化、支援体制強化を図ることができ、充実につながったと考えている。また、専門職が一か所に集約されていることで、専門性の高い相談に応じられた。



林業技術者育成支援事業【農林課】

問 新規林業従事者育成のための事業であると思うが、今後の目標は。

答 受講者は、週末林業により森林の整備に係わることで、市内の森林整備促進が図られることを期待している。また、市では木質バイオマス燃料を利用する取り組みを推進しているため、森林整備によって得られた薪の原料となる材木を有効活用することを目指している。



リノベーションまちづくり事業【観光課】

問 事業内容とワークショップによって得られた効果は。

答 リノベーションまちづくりの浸透を図ることを目的に令和4年度から始まった新規事業であり、株式会社リノベリングへ事業実施を委託している。みどり市の実践者となる一定の掘り起こしや、2回の講演会後にはマルシェの開催などの動きにつながった。

